

STORY of TENKENSOU 1975-1989

すべてはお客様の ニーズから

衣料小売店のために立ち上がる

契機は1964年頃。セルフ大西には、衣料品店から店舗改装の相談が多く寄せられていました。総合スーパーの進出もあり、個人経営の小売店の経営状況が悪化していたのです。店舗内装業者を紹介するもマッチングが難しく、「それならば」と、自らも売場を持ち、店舗ニーズを知り尽くしている大西衣料が本腰を入れてお店づくりの事業立ち上げを決意。店舗相談コーナーとモデル店舗を設け、陳列器具などの展示即売を開始しました。そして1974年、部材の自由な組み合わせが可能なシステム什器を大手電機メーカーと共同開発し、その後「大西SIセンター」を開設。低予算・短工期で魅力的なお店づくりを実現するベースができたのです。

店舗のインプローブメント（改善・改良）が 本格始動

1975年には店舗の設計施工会社として発足。「店舗経営に関わるコストの合理化」を掲げ「株式会社大西SIセンター」が誕生します。大西衣料心斎橋売場の一角で、社員8名での船出でした。SI(Shop Improvement)には、店舗の内装からメンテナンス、管理運営までをトータルに支えるという基本理念が込められています。1976年には、本格的なモデルルームを開設。SIセンター設立からわずか1年で1,700店舗に達した改装実績は、お客様からの高い評価の証となりました。

問題解決をスピーディーに確実に

1980年代には、設計などの効率化にも積極的に取り組みました。CADAM(2次元CAD/CAM)やCGの導入もその一環です。1983年の「セルフ店研株式会社」に改称後は、全国の衣料品店の問題解決に向け、店舗什器・備品を掲載した総合カタログを創刊。通信販売にも注力していったほか、大阪店に続き、東京、福岡、名古屋にも拠点を開設していきました。



大西SIセンター



システムポール

柱の丸みが柔らかく親しみやすさを演出する人気商品

両側から商品を取り出せて便利



キャスターを付けば移動もラクラク

角ポール

本体のバリエーションやオプションが豊富で、今に続く陳列什器のベースとなった商品



STORE FIXTURES

買い増し、組み替えが
自由自在なシステム什器

強度と木のぬくもりを併せ持つ



スクリーンディスプレイ

仕様変更、改良しながら長年愛されたロングセラー



当時大阪店で無料開催していたディスプレイ教室の様子